

町の考えを問う！

9議員が登壇

9月定例議会では9名の議員が一般質問を行いました。
 その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。
 なお、会議中の発言および答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(ただし、9月議会分は12月初旬の掲載になります。)



伊奈町議会ホームページ
<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

議員氏名	質問事項
永末厚二 (9ページ)	1 町民コメント制度について 2 改正後の介護保険について 3 水害対策について
大沢 淳 (9ページ)	1 内宿地域(北部区画整理地内)の交通安全対策を 2 (新)後期高齢者医療制度と広域連合に対する町の姿勢 3 障害をもった方への福祉の充実のため障害福祉計画の具体化を 4 ゴミ処理広域化の問題点と現在すすめるべきごみ処理の課題
加藤利明 (10ページ)	1 農業振興について
鈴木 明 (10ページ)	1 伊奈氏屋敷跡周辺の観光資源化への取り組みについて
鳥井文典 (11ページ)	1 野川町長の町政執行および来春の町長選について 2 国民年金問題の対応について

議員氏名	質問事項
平田 義雄 (11ページ)	1 まちづくり防犯協定締結拡大の取り組みについて
小林 菊江 (12ページ)	1 児童・生徒の健康について 2 中学生保護者の経済的負担の軽減策を
高橋 康一 (12ページ)	1 町民が望む町づくりとは 2 消防署の状況に関して 3 伊奈の児童生徒の教育について 4 課外活動に関して 5 「ゆめくる」の運営状況は
水上 邦雄 (13ページ)	1 県道の整備について 2 安心・安全ステーションについて 3 人事評価制度について 4 職員の意識改革の推進について 5 人事院勧告について



地域包括支援センター
社会福祉協議会内

介護保険制度、改正の移行状況

ほぼスムーズに移行できていると考えている



ながすえこうじ
永末厚二 議員

問 4月に設置した地域包括支援センターの活動状況と相談件数は、設置以前の在宅支援センターの位置づけは。

答 社会福祉協議会に委託をし9月で半年を迎える、活動内容は、要支援1・2に対する新予防給付のケアマネジメント、

在宅支援センターは廃止・統合した。

町民コメント制度で適用を除外するものは

問 災害時以外に何かあるか、軽微なものの判断は誰が、他のコメント制度とは。

答 災害時の救済処置など、軽微な判断は実施機関の責任者、公聴会、地域懇談会など。

伊奈町の水害対策について

問 ここ数年の道路などの冠水状況と対策は、治水対策の数値目標の見直しを。

答 下の池2の運用開始により栄地区の冠水は無くなるか。

答 道路など6箇所、対策として、排水設備の容積拡大、流路を妨げるゴミなどの除去。5年確率の時間雨量は57ミリである、計画から12年が経過しており、見直しの時期

にきている。下の池2の運用開始により、ただちに無くなるが町全体に寄与する。

記念公園通りに信号機の設置を

引き続き県警察に強く要望する



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

内宿地域の交通安全対策を

問 一時停止、横断歩道の全体的な増設を。

答 上尾警察署と協議中。

(新)後期高齢者医療制度

問 高齢者の生活実態に即した保険料に、保険料と医療費の減免制度を資格証明書を発行しないこと。

以上を実施主体である広域連合に要望を。

答 広域連合での方針に従って適正な執行に努めたい。

障害福祉計画の具体化

問 障害福祉サービス確保に向けて町が積極的に

づけは。
答 利用者に不利益がなければ現在の形で運営したい。

ゴミ処理広域化の問題点と現在すすめるべき課題

問 広域ごみ処理検討会に住民代表の参加を。

答 引き続き機会がある毎に検討会に提案したい。

問 紙製容器包装や雑紙の分別収集を。

答 現在分別回収を進めるべく、調査、研究を進めている



信号機の設置の望まれる記念公園通りの交差点



遊休農地を有効利用（家庭菜園）

遊休農地対策は

環境景観整備などしていく



かとうとしあき
加藤利明 議員

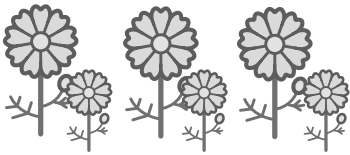
問 農業後継者不足対策については、農業生産環境整備を推進すると共に、経営感覚に優れた高い営農意欲をもった組織や、担手の育成支援が重要、

答 農業への理解を深め都市近郊としての特性を生かした農業の振興を図る必要があると思うが。
答 小規模な農家であっても「集落営農組織」に

加入することで地域の担い手の一員となることもある。町には、まだ集落営農組織はないが、今後は、JAとも連携しながら組織の育成ができればと考えている。

問 遊休農地活用について、新規就農者へのあつせん、農業の集団化、大規模化のための仲介サービスや市民農園としての活用、コスモス、菜の花などを植えて、環境景観整備をするなど検討し、遊休農地を減少させる必要があると思うが。

答 遊休農地を解消していくには、実態を把握、所有者の意向確認をし、一連の総合的なしくみや、体制整備が必要かと考えられる。



伊奈氏屋敷跡周辺の

観光資源化への取り組みは

関係者のコンセンサスを図り、

基礎調査を実施し、計画策定する



すずき あきら
鈴木 明 議員

問 町名の由来ともなった「伊奈備前守忠次」公の歴史的な功績や、他市町村にはない多くの史跡を生かして、町民が未来に夢と誇りの持てる「町づくり」に取り組み考えは。

答 県のこれまでの姿勢には疑問を持っていて、頓挫しないよう、時間はかかると思うが、基礎調査を実施し、しっかりとした計画を策定していく。

問 丸の内地区の地権者、町、県が一体となつて取り組む必要がある。公有地化による町の財政負担や観光資源とするためには、しっかりとした整備が必要なので時間がかかると思うが研究してまいりたい。



伊奈氏屋敷跡

来春の町長選に 再度出馬されるのか

時期をみて発表したい



とりいぶんてん
鳥井文典 議員

問 野川町長就任後、約3年半が経過した。町政執行され自らどう評価されているか。

答 全ての事業の取り組みに対して胸が張れるものと自負している。

問 来春には町長選が行



役場窓口

なわれる予定だ。再度に
向け出馬されるのか。

答 現時点では結論を出していない。
今後検討し時期をみて
発表したい。

年金問題の不安解消を

問 平成14年3月まで町は国民年金の収納事務を行っていた。その後国に移管され帳簿等の保管義務がなくなったが名簿や加入記録の保管状況は。

答 台帳や電子データとして保存しており、希望者には記録の写しを無料で交付する。

問 社保事務所より出張相談のPRの拡充と町の住民課での町民相談体制の充実化を。

答 広報で周知する。町としての相談体制の現状は社保事務所と連携をとり電話等で記録確認しその場で答えている。

町ができることは積極的に実施し適切に対応する。年金記録の請求は町窓口で受けつけ自宅に郵送する制度もある。



町の防犯青色灯パトカー

防犯（三者）協定の拡大を！

団体の理解を得て取り組む



ひらたよしお
平田義雄 議員

問 安心・安全「町づくり」の課題は、医療、年金等を含めた「命とくら

し」を守る重要な取り組みだ。合せて、一瞬にして、生命、財産を奪う犯

罪の発生を抑止する防犯活動は不可欠である。町は、町内の自主防犯組織と合せて、町内の団体企業と警察との間で防犯協定を締結し団体の多くの方による不審者情報、子ども見守り等の協力を得ている。今後の治安を守るため、さらに多くの防犯協定の拡大が必要と考え、現状の協定状況を質す。

答 現在の締結状況は、町商店会連合会との協定、以下、上尾市農協、県電気工事組合等四団体と協定締結済みである。

問 町内には多くの団体がある、例えば郵便局、宅配、ガス等の配送業者があり、町内で多くの人が仕事に従事している。さらに、電気、水道のメーター検針業務の人もいる。こうした人々の企業に防犯、子ども、老人世帯の見守りを促した協定締結をと思う、その見解を質す。

答 団体のご理解を得られれば警察と連携して努めたい。



丈夫な歯になれ

児童・生徒の健康と支援策は

健康で明るい将来のため
学校と家庭が協力し合う



こばやしきくえ
小林菊江 議員

問 児童・生徒の健康保持、増進を図り教育活動を円滑に行なうため、各種の健康診断が行なわれているが、弱視児童・生徒の検診状況と、支援策

答 は、プリントや各種通信等を拡大コピーし、級友の助け合いや教員の支援などで支障がないように配慮し、教育委員会では

拡大鏡を準備している。子どもが様々な場面で活用できるように対応をしている。

問 平成18年4月から治療用眼鏡やコンタクトレンズの保険適用がスタートしたが年齢制限がある。治療用眼鏡は特注品のため高額になるし家計の負担も大きい。保険適用外の9歳以上満15歳まで町独自の助成制度の考えは。

答 国の動向を見極めていく。

歯の健康について

問 健康な歯は、体の健康や生活的習慣も身に付き運動や学力向上に繋がる。検診状況と虫歯予防対策は。

答 虫歯は子どもの健全な発育にも悪影響がある。今後歯磨きや早期治療活動を行なう。

制服のリサイクルで家計軽減を

答 PTAの協力を頂き今後制服等の提供を呼び掛ける。

課外活動に関して

伊奈中男子卓球部県大会優勝



たかはしやすおかず
高橋康一 議員

問 町民の望む町づくりとはどういう事と考えるか。

答 将来像「自然と調和したふれあい・安心安全、住みよいまち」の取り組みで実現すると確信する。ひとつの目標である人口5万人の達成。限られた財源を効果ある事業に展開をする。

問 児童生徒の教育について。

答 モンスターペアレンツと呼ばれる一部の親たちの「うちの子主義」の理不尽な要求が課題となっている。粘り強い対応をする。「学ぶ」の語源は「真似る」であり子供は大人からの模範から始まる。家庭・地域との

相互協力のある開かれた学校を目指す。知徳体の調和した教育活動を展開している。家庭の教育力

と深くかかわる「規律ある態度」挨拶や返事の励行目に見える取り組みを継続的にを行い、習慣として定着を強化したい。

問 「ゆめくる」の運営状況は。

答 4月から指定管理者制度が導入されたが特に問題なく順調に管理運営をしている。スポーツ系の事業だけでなく、お菓子づくり教室、バラの花籠作り、等の文化系事業も充実が図られた。



伊奈町ふれあい活動センター「ゆめくる」

伊奈町の将来にとって 県道の整備が重要



みずかみ けんじ
水上邦雄 議員

町の骨格道路として
早期整備を県に要望していく

上尾環状線の早期整備を

問 県立ガンセンターを境に東側は道幅も狭く歩道もなく危険だ。

答 都市計画決定を県にはたつきかけ県道の早期整備を。

問 町の重要な骨格道路の一つとして位置付けている。

答 県道の拡幅整備は北本県土整備事務所にお願している。

都市計画決定は県と協議している。

伊奈中央線全面開通の見通しは

問 第一期、米3・4丁



南中方向から丸山駅方向へ（県道上尾環状線）

目から県道蓮田・鴻巣線（NTT交換局）までの完了予定は。

答 用地買収率48%で22年度に完了を予定している。

問 蓮田・鴻巣線のバイパスの役割として重要、早期全面開通が望まれるが。

答 水道庁舎までは、第二・三期に分けて整備を予定している。早期全面開通できるよう強く要望していく。

問 西農免道の歩道とU字溝の未整備部分の実施予定は。

答 今年度は水道庁舎付近と消防署付近の舗装修繕工事を実施する。

歩行者の安全確保のため効果的な方策を講じていく。

決算特別委員会

委員長に大谷議員 副委員長に大沢議員

委員長あいさつ

議員各位のご推挙により、不肖私が、決算特別委員長の重責を担う事に成りました。平成18年度の予算がどのように執行されているか、町民負担によって得られた貴重な財源を公平、公正に使われているか、無駄はないか等、多方面から審査し、新年度の予算編成や、それに伴なう行財政運営に活かしていただきたいと思っております。



副委員長
大沢 淳



委員長
大谷 保雄